

幹本申第5号「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する解明入れ（その1）④

7. 新幹線本部各部内に UT を設置する目的を明らかにすること。また各 UT の役割を明らかにすること。

【回答】

社員の活躍フィールドを拡大するため、既存の第一線の職場（運輸区、車両センター、技術センター）をユニットに取り込むこと等により、企画部門と融合した形の「新幹線本部」へ再編し、合わせて事業本部との連携も進めるところである。

《組合》各 UT の役割を教えてください。

《会社》

新幹線 運輸車両部	輸送戦略 UT	ダイヤ（商品）設計、需要予測、長期計画、定期列車、臨時列車計画 新幹線に関する施策の調整（次世代新幹線導入など）
	輸送サービス UT	乗務員指導、養成計画、安全対策、会社間業務、運転設備
	車両 UT	車両品質、技術管理、長期的な設備計画、教育計画、車両工事計画、検修設備
新幹線設備部	企画設備 UT	設備部の企画、各種調整業務 土木担当（騒音、振動関係、新幹線特有の課題に対して設備部門との連携）
	保線戦略 UT	新幹線保線業務の将来像の検討、各種施策推進
	新幹線大規模改修 UT	2031 年から開始する新幹線大規模改修に向けた各種施策の推進
	保線技術 UT	保線マネジメント業務、巡視や検査、施工管理のオペレーション業務
新幹線 電気ネットワーク部	企画・電気戦略 UT	全体の目標策定、系統間の調整、工事管理、予算管理、新技術導入、ルール見直し
	信号通信技術 UT	中長期計画、認定事業関係の設計確認、保守の技術指導、信号通信 UT との連携
	各信号通信 UT	現地の信号設備の維持管理
	電力技術 UT	中長期計画、認定事業関係の設計確認、保守の技術指導、電力 UT との連携
	各電力 UT	現地の電力設備の維持管理
	システム UT	COSMOS に関わる中長期計画、開発、保守、業務効率化、品質向上

《組合》例えば車両の中で業務は変わっていくのか。

《会社》オペレーションを維持していくことに変わりはない。技術管理などの企画系の業務では、各地で共通化が出来る業務は車両管理で見ていくようなイメージである。各部でも企画業務については同じイメージで進めていく。7/1 の断面では急激に変わらない。徐々に変わっていく。

《組合》各拠点の名称はどうなるのか。

《会社》対外的な役割も必要なので、どのように呼称するかは検討中である。

8. 新幹線本部を設置した場合の発令などの人事権の権限について明らかにすること。

【回答】

就業規則等に則り取り扱うこととなる。

《組合》発令は新幹線本部長が出すのか。

《会社》最終的にどうなるか決まっていないが、現行の統括本部と同じイメージを想定している。